

財務諸表に対する注記

平成30年3月31日現在

1 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 棚卸の評価基準及び評価方法
棚卸の評価基準は、取得原価法であり、評価方法は、総平均法によっている。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
固定資産の減価償却方法は、定率法によっている。
- (4) 引当金の計上基準
退職給付引当金
職員の退職給付に備えるため、当期末における要支給額に基づき計上している。
貸倒引当金
一般債権・・・期末保有債権につき、貸倒実績率に基づき計上している。
貸倒懸念債権・・・期末保有債権につき、債権金額の50%相当額を計上している。
賞与引当金
職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理
税込方式を採用している。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産引当資産	200,000,000	0	0	200,000,000
小計	200,000,000	0	0	200,000,000
特定資産				
運用基金積立資産	318,000,000			318,000,000
退職給付引当資産	23,217,200	0	0	23,217,200
財務調整引当資産	85,000,000	0	0	85,000,000
公益目的特定事業引当資産	85,500,000	0	21,000,000	64,500,000
国際学校奨学金引当資産	6,906,222	0	100,092	6,806,130
留学生支援奨学金事業引当資産	866,997	0	404,496	462,501
小計	519,490,419	0	21,504,588	497,985,831
合計	719,490,419	0	21,504,588	697,985,831

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味 財産からの充当 額)	(うち一般正味 財産からの充当 額)	(うち負債に対 応する額)
基本財産				
基本財産引当資産	200,000,000	200,000,000	0	—
小計	200,000,000	200,000,000	0	—
特定資産				
運用基金積立資産	318,000,000	318,000,000	0	—
退職給付引当資産	23,217,200	0		23,217,200
財務調整引当資産	85,000,000	0	85,000,000	—
公益目的特定事業引当資産	64,500,000		64,500,000	—
国際学校奨学金引当資産	6,806,130	6,806,130	0	—
留学生支援奨学金事業引当資産	462,501	462,501	0	—
小計	497,985,831	325,268,631	149,500,000	23,217,200
合計	697,985,831	525,268,631	149,500,000	23,217,200

4 担保に供している資産

該当なし

5 保証債務等の偶発債務

該当なし

6 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価格、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	帳簿価格	時価	評価損益
大阪市債	160,000,000	165,953,800	5,953,800
国債	208,000,000	234,761,600	26,761,600
合計	368,000,000	400,715,400	32,715,400

7 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の 記載区分
交付金						
大阪市交付金	大阪市		41,248,320	41,248,320	0	—
合計		0	41,248,320	41,248,320	0	

8 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金額
経常収益への振替額	
受取寄付金への振替額	1,507,997
合計	1,507,997